

※県立A病院を参考

大規模モデルから一部の部システムが存在しないケース（カパシタ記載のみ行い伝票運用など）増える。もしくは小規模モデルから手術、麻酔、輸血部門、DPCを除いた構成となるイメージ。ただし、昨今の「電子カルテ化に伴い」結果の傍部システムについては何らかの部システムが導入され、結果値を電子カルテ側へ連携している傾向あり。部システムが存在しないオオーダー種については電子カルテ側でオオーダー入力（ex.汎用オオーダー機能など）された情報をも医事システムへコストとして連携する。その他に患者様による操作を伴う機器（自動精算機）の導入が避けられる傾向あり。

